

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	教育実習事前及び事後の指導 (中・高)		
担当者(Instructors)	竹田 安宏	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
<p>本講義は、中学校及び高等学校で教育実習を行うにあたって教育実習の意義・目的に関する理解を深めると共に、充実した実習にするための準備や心構えを習得することを目的とする。事前指導（12回）においては、①教育実習の意義や目的を確認する、②担当教科の授業案を作成する、③模擬授業に取り組む、④実習日誌の記入方法を学ぶなどの4点について取り組む。事後指導（3回）では、各自の体験を振り返るとともに、プレゼンテーションを通して受講者全員で経験を共有する。それらをもとに、現在の学校現場が抱える課題の内実とそれに対応するために必要な能力について再確認する。</p>			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義及び演習（グループワーク）

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要 学校教員について	本講義の概要の理解 学校現場において教員が果たす役割と資質・能力について	<input type="checkbox"/>
第2回	教育実習の意義と目的	教育実習の意義と目的の確認 充実した実習を行うことができるように自己目標の明確化	<input type="checkbox"/>
第3回	指導案（細案）の構造	・指導案（細案）の構造の理解 1. 日時など 2. 単元目標 3. 単元の評価規準 4. 単元について（①教材観、②生徒観、③指導観） 5. 単元計画 6. 本時の指導（①本時の目標、②本時の評価規準、③本時の展開） 7. 本時の評価 8. 板書例・他	<input type="checkbox"/>
第4回	体育の授業デザインと指導案作成に向けた資料収集	体育授業のデザインと指導案作成に向けた準備	<input type="checkbox"/>
第5回	体育授業の指導案（略案）の作成	体育授業の指導案を作成	<input type="checkbox"/>
第6回	保健分野の授業デザインと指導案作成に向けた資料作成	保健授業で活用しやすい教材の検討と指導案の作成	<input type="checkbox"/>
第7回	保健分野の授業デザインに関連した教材検討と指導案の作成	保健分野の授業デザインに関連した教材検討と指導案の作成	<input type="checkbox"/>
第8回	体育模擬授業	作成した指導案をもとに体育模擬授業の実践と課題の発見	<input type="checkbox"/>
第9回	体育模擬授業の振り返り	実践した体育模擬授業の振り返りを行い、改善点を検討	<input type="checkbox"/>
第10回	保健模擬授業	作成した指導案をもとに保健模擬授業の実践と課題の発見	<input type="checkbox"/>
第11回	保健模擬授業の振り返り	実践した保健模擬授業の振り返りを行い、改善点を検討	<input type="checkbox"/>
第12回	教育実習の心構え	学級担任の役割、保健体育教員の役割について考え、目前の教育実習の意義と目標の再確認	<input type="checkbox"/>
第13回	教育実習の振り返りと課題	教育実習の経験を通して教育実習で得ることができた知見を明らかにするとともに、同時に自己の問題点と課題を発見	<input type="checkbox"/>
第14回	保健体育教師とは	教育実習の経験を通して、学校教員に求められる教師の資質・能力についてグループでまとめ発表	<input type="checkbox"/>
第15回	教育実習研究のまとめ	教育実習の振り返りと課題レポートの作成	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・毎回の講義の事前課題の追求（2時間程度），事後の学習を通じて，充実した教育実習が行えるように課題をまとめる（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・学生の事前レポートを確認し，個人の課題が認識できるように個別の指導を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 教職課程	教育実習（中学校・高等学校）を行うにあたり，教育実習の意義及び目的について理解を深めるとともに，充実した教育実習を行うための入念な教材研究やその他の準備を主体的に行うことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・指導案（細案）作成点（30点）・実習ノート（20点）

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて適宜配布	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	文部科学省 中学校学習指導要領 保健体育編	
2	文部科学省 高等学校学習指導要領 保健体育編・体育編	
3		
4		
5		